

| | | | |
|--|---|--------------------|-----------|
| 科目名 | | 脳神経外科学特論 | |
| 科目責任者 | | 山本 淳 考 (脳神経外科学 教授) | |
| 開講時期: | 1～2年次 | 単位数: | 6 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 45 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>脳神経外科領域における基本的な専門的スキル(診断・治療)を習得するために、脳神経外科疾患において、基礎領域から診断、内科的治療(化学療法等)、外科的治療および放射線治療におよぶ包括的な知識・技能・態度を修得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 脳神経疾患の特殊性を理解する。 2) 脳神経症状を正しくとらえ解剖学的位置から病巣の位置を理解する。 3) 脳神経外科手術アプローチで必要な微小解剖を説明する。 4) 脳神経外科に必要な画像診断的手法を説明する。 5) 脳神経外科に必要な病理診断的手法を説明する。 6) 脳神経外科に必要な臨床統計や疫学に関する手法を説明する。 7) 脳神経外科に必要な薬物療法や放射線治療に関する治療計画を立案し実施する。 8) 脳神経外科における適切なインフォームドコンセントを実施する。 9) 脳神経外科における診断・治療方針の決定の際に生命倫理に配慮する。 10) 脳神経外科における臨床的結果と画像・病理所見との関連を統計学的に説明する。 | | | |
| ● 評価方法 | プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 講義の中で必要に応じ紹介する。 | | |

授 業 項 目 (内 容)

脳神経外科に必要とされるにおける分子生物学

脳神経外科に必要とされる臨床画像診断学

中枢神経に発生する腫瘍に対する病理学

脳神経外科手術に必要とされる臨床解剖学

インフォームドコンセントと生命倫理

脳神経外科研究に対する疫学研究

脳神経外科疾患に対する手術手技

脳神経外科疾患に対する化学療法・放射線治療

脳神経外科疾患における臨床研究

脳神経外科疾患に対する基礎的研究手法

医学英語の書き方